



各 位

2023年4月25日

会社名 東京ラヂエーター製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 落合 久男
(コード番号 7235 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部 本部長 矢野 和彦
(TEL. 0466-87-1231)

通期連結業績予想の上方修正及び資本政策実施に伴う営業外費用の発生に関するお知らせ

当社は、2022年12月27日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2023年3月期 連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）において、下記のとおり営業外費用を計上する見込みとなりました。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 30,000	百万円 300	百万円 500	百万円 △800	円 銭 △55.60
今回発表予想 (B)	31,500	800	800	△700	△51.40
増減額 (B-A)	1,500	500	300	100	
増減率 (%)	5.0%	166.7%	60.0%	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	26,988	△92	95	△801	△55.68

(2) 業績予想修正の理由

本年度におきましては、材料調達における市況の影響や新型コロナウイルスによるロックダウン、半導体不足による顧客製造ラインへの影響、電力料をはじめとしたエネルギーコスト高騰など厳しい事業環境が続いておりますが、それらに対応した固定費の削減などの原価低減活動を継続的に進めてまいりました。加えて材料高騰影響などの価格反映等を進めた結果、2022年12月27日に開示した2023年3月期通期連結業績予想に対し、日本、アジアセグメントの売上増により営業利益を5億円、及び下記2.の営業外費用発生を踏まえ、経常利益を3億円、並びに2023年2月10日に開示した法人税等調整額の計上を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純損失を1億円、それぞれ上方修正をいたします。

なお、期末配当予想につきましては、修正はありません。

2. 資本政策実施に伴う営業外費用の発生について

2023年2月16日に行った自己株式取得に関連して発生した財務アドバイザー手数料、株式売買手数料及び当該施策実行に係る第三者委員会開催に伴う委託手数料について、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、営業外費用として198百万円を計上する見込みです。

なお、本営業外費用につきましては上記業績予想に反映しております。

※上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上